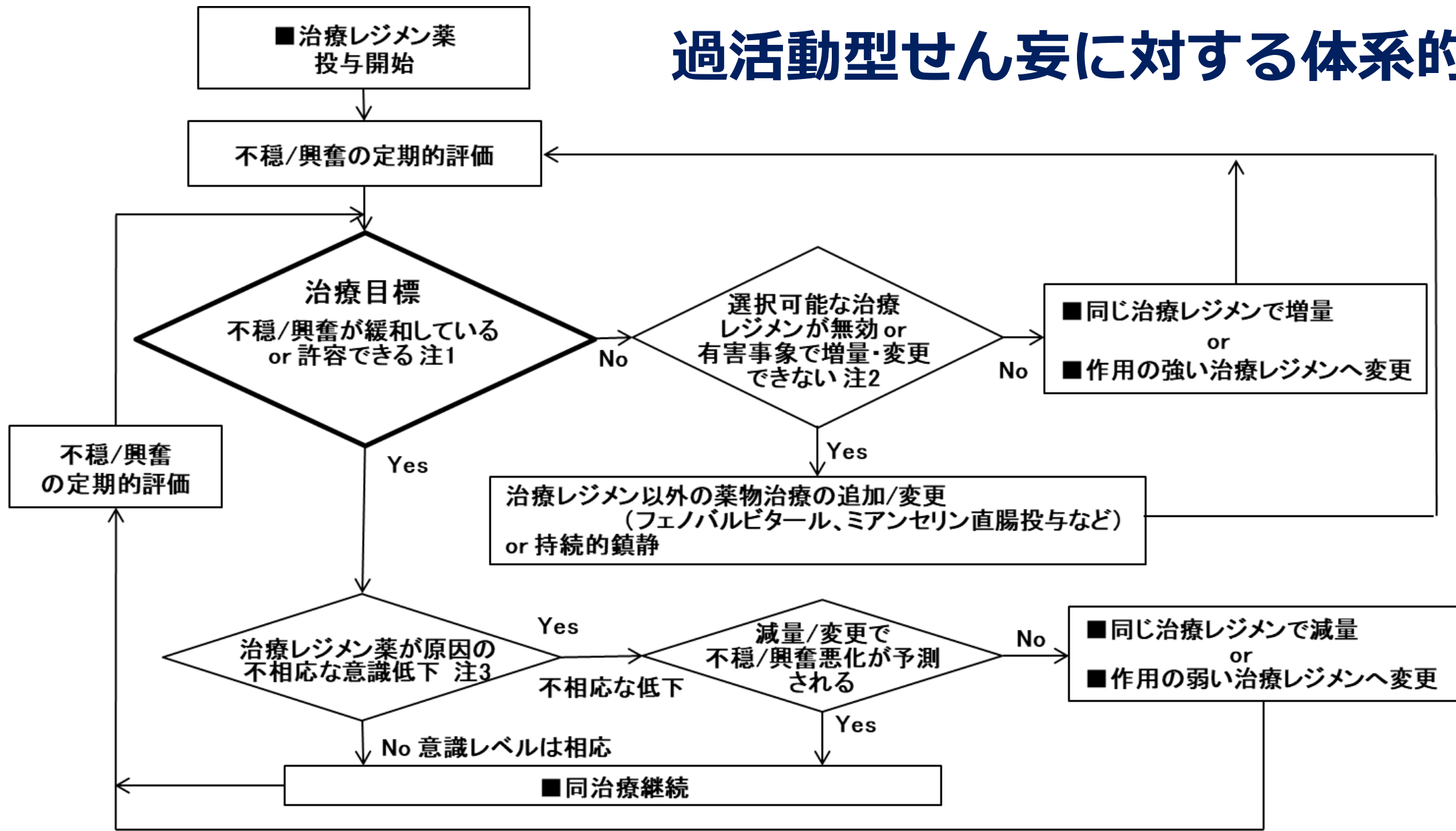


過活動型せん妄に対する体系的治療



注1: 不穏/興奮があっても患者/家族の価値観で今以上の苦痛緩和を希望せず苦痛緩和と薬剤の影響のバランスから増量を希望しない場合

注2: 呼吸数低下、錐体外路症状、血圧低下などの有害事象により、向精神薬の増量が困難

注3: 通常はRASS-2~0 (浅い鎮静状態までの意識レベル)程度であれば意識レベルは相応と考える